福祉

福祉健康部における本年度予算編成について

問　民生費の予算の内、特に高齢者、障害者施策では、前年度との比較で大きな変化がある。削減された部分だけを見ると福祉の減退と判断されかねないのでは。

答　10年後は高齢者の割合が30％を超える超高齢社会を迎える。そうした状況を踏まえ、個別給付を見直したことにより、事業費の減額となったが、高齢者の見守りや介護予防の充実などを目的に予算編成をした。障害者福祉については、自立と社会参加の体制の充実、そして一番要望が大きい基幹相談支援センターの構築に取り組む予算を編成した。

地域生活支援事業

問　基幹相談支援センターの内容は。

答　障害のあるかたの多様な相談に対応できる相談窓口を設置するとともに、地域の相談支援事業者間の調整や支援を強化していく。

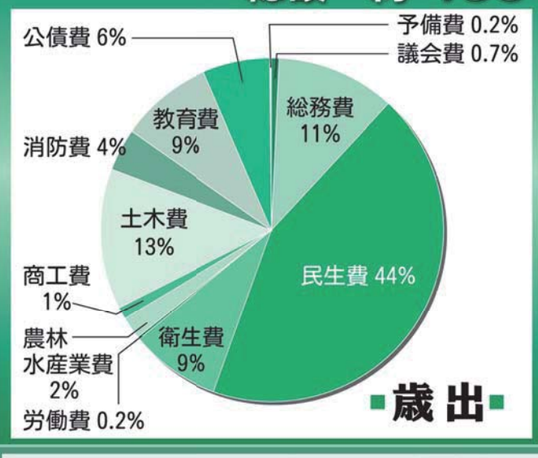
高齢者慶祝事業

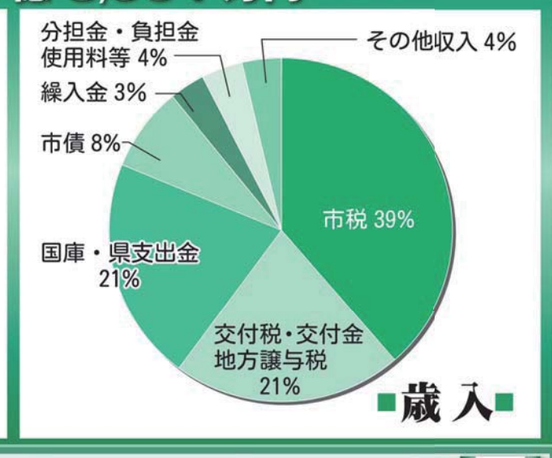
問　祝い金に代わり何をするのか。

答　100歳のお祝いと同様、88歳の米寿、99歳の白寿のお祝いに色紙を贈呈する事業に変更した。

平成27年度　一般会計予算

総額　約466億3,991万円





補正予算

産業拠点推進事業

問　拠点推進事業の減額414万円は。

答　秩父鉄道駅の設計委託額確定による減額。

問　繰越明許費（4780万円）の理由は。

答　用地測量業務の繰越である。

問　物件補償委託500万円とは。

答　拠点西南角の豚舎が移転した場合の物件補償調査費用である。

農業施策推進事業

問　決算見込約49億円の減額理由は。

答　雪害によるビニールハウス再建事業で、見積もり期間が2週間だったため、その期間に間に合わない農家があった。そのため、仮単価によりおおよその枠予算を組んだので、実際の交付決定額と差額が生じた。

問　交付額と市負担額は。

答　1086農家で約93億円、うち市負担は約21億円で特別交付税の算定基礎となる。

地域住民生活等緊急支援のための交付金を受けての補助事業

事業名	プレミアム付商品券発行支援事業	多子世帯向け商品券支給事業
事業概要	市内の商工団体が実施する商品券事業に対し補助券を交付することにより、市内消費の喚起に努め、もって市内商業の活性化を図ることを目的とする。	多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、多子世帯向け商品券を支給する。 1世帯あたり　1万円
事業費	2億8381万2000円	2107万8000円

条例

特定教育・保育施設の利用者負担額に関する条例

問　これまで保育料は所得税を基に算出されてきたが、市町村民税に変わることで影響は出ないのか。

答　国の階層基準に近づけ、18階層に設定した。低所得者層には負担が増えないよう調整を行い、収入が1130万円を超える高所得者には応分の負担をお願いすることになる。

問　多子世帯の減免については、どのように規則で定めていくのか。

答　幼稚園に通う子供については、一番上の子供が小学校3年生までの場合、第2子は半額、第3子以降は無料となる。保育園に通う子供については、小学校就学前の範囲で第2子は半額、第3子以降は無料となる。

保育園条例の一部を改正

保育時間を変更するもの

問　保育時間を二つに分けた理由は。

答　保育標準時間はフルタイムで働く保護者を想定し午前7時30分から午後6時30分まで、保育短時間はパートタイムで働く保護者を想定していて午前8時30分から午後4時30分までとなっている。

問　延長保育の利用料金はどうなっているのか。

答　保育標準時間については前後30分が1時間当たり100円で月額2000円。保育短時間については、午前8時30分前、午後4時30分以降は延長保育料をいただく。

下水道条例の一部を改正

使用料の額を改定

問　平成32年に下水道の基本使用料が2000円、1㎥あたりの従量使用量が10㎥まで80円となるが、市の増収額はどのくらいになるのか。

答　3段階で増収を見込んでいて、最初の段階で使用量単価が133.6円／㎥で3億円弱、第2段階で156.9円／㎥第3段階で178.2円／㎥それぞれ約1億5000万円の増収を見込んでいる。

岡部浄水場

議員全員協議会

・・・主なものをお知らせします・・・

報告1　深谷市役所第2庁舎跡地を売却します

水道庁舎として使用されてきた第2庁舎ですが、庁舎の移転により平成26年12月用途廃止となりました。このため、売却後速やかに解体し、3年以内に提案した事業を適切に実施できる法人を募集することとなりました。

報告2　産業会館の貸館が中止されます

耐震性に問題のある施設であることから、7月末をもって貸館業務を行わないこととなりました。

報告3　深谷市の計画が新たに策定されました

深谷市の福祉の最上位計画である「深谷市地域福祉計画」が、今議会で議決事件として採決、可決されました。その部門計画である3つの計画が今回策定されました。

深谷市地域福祉計画

- 深谷市障害者プラン
  - 深谷市障害者計画
  - 深谷市障害福祉計画
- 深谷市子ども・子育て支援事業計画
- 深谷市高齢者福祉計画
- 介護保険事業計画（大里広域市町村圏組合）

人事案件

□深谷市行政監察員の委嘱に同意
南雲芳夫（なくも よしお）

□深谷市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
中村文男（なかむら ふみお）

□深谷市教育委員会委員の任命に同意
橋本幾子（はしもと いくこ）

□深谷市教育委員会教育長の任命に同意
小柳光春（こやなぎ みつはる）

□人権擁護委員の推薦に対する意見
若林博（わかばやし ひろし）

〈「議会だより」はホームページでも見られます・・・市のホームページを開き、「深谷市議会」、「市議会だより（PDF版）の順にクリックしてください。創刊号から今号までご覧いただけます。〉